

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室ことのは				公表日 令和 7年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	訓練等の目的に応じて、部屋が分かれています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	必要に応じて、利用者と1対1にて、療育を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	バリアフリー化が行き届いていない部分もありますが、室内環境では、階段や床に保護マットを敷き、角部分には緩衝材を取り付け危険のないようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	活動目的に合った環境づくりを行っており、子ども達が好きな部屋で楽しく活動ができるようにしています。	集団活動を行う際には、臨機応変に遊具の配置の工夫するなどし、安全に向けて配慮する対応をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	活動目的に合った環境づくりを行っており、子ども達が好きな部屋で楽しく活動ができるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	終業前後にミーティングを実施して、その中で業務改善の話を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	前年度の自己評価の結果を踏まえ、改善できる点は速やかに改善を行うようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎月、管理者と面談を行う事で必要に応じて業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	定期的に法人内にて情報交換会を実施しており、要望に沿って勉強会を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	2		個別支援会議をその都度行っているが、その時間の確保等、今後も創意工夫を努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	児童発達支援管理責任者と職員が個別支援会議に参加して、支援の改善や共通理解に努めています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	個別支援会議にて共有することで、計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	評価表・アセスメントシートにて、児童の状況を分析し、職員間で共有しています。	保護者へ発達理解の指針とされるよう、定期的に検査を行える体制を整えています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	保護者からの要望も踏まえて、児童それぞれの適性に応じた支援プログラムを作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	子どもの興味関心に合わせて、日々の活動プログラムを構成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	2	子どもの興味関心に合わせて、集団活動を取り入れながらも、個別活動を重視した個別支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	日々のデイリー（活動予定表）を基に、役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	終礼を実施しており、児童の様子や支援の検証をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	記録は徹底しており、定期的に振り返りを行い支援の検証を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者が主に参加する様になっています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	定期モニタリング以外にも必要に応じて担当者会議を行う等、情報共有と相互理解を行うようにしています。	医療ケア等が必要な児童が利用を希望される場合には連携を図っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	定期モニタリング以外にも必要に応じて担当者会議を行う等、情報共有と相互理解を行うようにしています。	定期モニタリング以外でも、日常的に園や学校とコンタクトをとっていきながら、移行支援へと繋がるようにしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	5	各種研修に参加して、職員間でその内容の伝達を行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	2		定期的な交流する機会は設けておりませんが、地域のイベント等に参加した際に交流する機会を設けています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々の対面にて共有しており、面談が困難な場合にはお電話にて共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	保護者からの相談に応じて、必要な情報を提供しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	管理者より説明を行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9		今後、保護者からの要望を踏まえながら、必要に応じて、保護者会の開催等の検討を行います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	相談等があった際には対応しています。また、必要に応じて、ミーティングを行い、その対応策を検討して提案しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	定期的にブログを更新し、活動の様子や支援に関する情報を紹介しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	ホームページを通して、活動の情報を積極的に発信しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	各種マニュアルを策定して、職員間で共有しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	年に2回避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画を作成しており、定期的に更新や点検を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		子ども達の安心・安全支援プログラムの内容やその実施の周知を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	終礼での報告にて共有、書面で共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止委員会を通じて定期的に研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2	必要に応じて、計画立案を行い、児童発達支援計画に記載しています。	